

茨城でんでん倶楽部



商品特徴

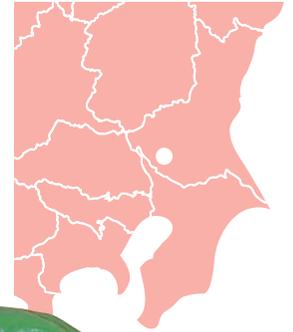
ピカピカした照りのよい大きな緑色の肉厚なピーマンは、苦みも少なくみずみずしいのが特徴です。ピーマンは高温だと生育が遅くなり、5月の気温が適温だそうです。4月に植えつけ、10月から11月ぐらいまで収穫できます。なす（品種くろべえ）は日持ちがよいつやつやした黒色が特徴で、収穫の時期は5月末～12月初めまでと長期間です。

視察日：2012年8月30日
所在地：茨城県坂東市
主な取り扱い品目：
ピーマン、なす、レタス、
ブロッコリー、ほうれん草、他



産地紹介

茨城県南東部を中心とした地域で、それぞれの作物ごとに研究会を組織されています。温暖な気候で、一年を通して野菜の生産ができる地域です。生産者同士が日々の栽培や経営について話し合い、親密なコミュニケーションを図っておられます。



生産者からのメッセージ

安全・安心はもちろんのことですが、食べて美味しい作物を栽培するために、肥料や水分を与えすぎないように心がけています。作物本来のもつ味や香りを引き出すために、作物自らが栄養を吸収できるような土作りに励んでいます。組合員さんに「美味しい」と言ってもらえることが励みとなり、毎日全力で栽培しているので是非食べてください。

参加理事の感想

今回訪問したピーマンと茄子の生産者の方々は高齢でご苦労がうかがえましたが、見事な野菜を栽培し収穫されています。圃場見学を通して、どの生産者も農業に誇りをもち、安心・安全な食材をより美味しく消費者に食べてもらうために、労を惜しまず努力されている姿に感動しました。

太陽の光で何色にも輝く作物、その輝きは厳しい環境から自らを守る粘液のベール、畑でしか見られない自然が育む生命力です。その光景を見て安全と美味しさは、人が育むということを改めて実感しました。